

和地ひとみレポート No.375

消防出初式、成人式…年明けの恒例行事が急遽中止に
新型コロナウイルス発生から1年…
コロナ禍の後にもプラスになる視点を持って



■新年の恒例行事が急遽中止に

…新型コロナウイルス感染症で終始した 2020 年が終わり、新たな年、2021 年を迎えました。今年も早期にこの“コロナ禍”が収束し、明るいニュースの多い 1 年になることを祈ってやまないところです。昨年からのレポートでは、新型コロナウイルス感染症関連の市行政の現状をお伝えすることが多くなってきましたが、一方で、新型コロナウイルス感染症以外の基本的な市行政に関わることを例えば、市の長期的な取組みや主な施策について等を極力取り上げて、「コロナ禍でも東大和市の行政や施策は進んでいる」ことをお伝えしたいと考えていました。しかし、2021 年最初のレポートは、残念ながら、コロナ関連の話題を取り上げることとしました。

…その理由の一つは、新年の恒例行事である消防出初式と成人式が急遽中止になったこと。今、各自治体がどのように新型コロナウイルス感染拡大に対応するかということが注目されていますが、東大和市では、様々な状況を考慮した中で、この 2 つの行事については、やり方を工夫して開催する予定でした。しかし、国の緊急事態宣言を受けて急遽、中止を決定することに。

…消防団員、最小限の来賓の出席で 1 月 10 日に開催を予定していた消防出初式については、3 日前の 1 月 7 日に急遽、式典を中止。各消防団の消防車の市内パレードのみに変更となりました。消防出初式は、消防団の日ごろの訓練の成果をお披露目するとともに、仕事初めでの士気の高揚と一般市民に対する防火や防災に対する意識を高めてもらうことを目的とした伝統行事です。緊急事態宣言が発令する前に、都の消防出初式が無観客で開催されていたこともあり、消防関係者は最後まで開催する方法を模索していたようですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、やむなくパレードのみという方法を取ったとのことでした。

…また、1 月 11 日に開催が予定されていた成人式についても 1 月 5 日に中止が公表されました。毎年、ハミングホールで開催されている成人式ですが、今年は、密をさけるために、中学校エリアで参加者を 2 グループに分け、2 回に分けて式典を行うことを予定していましたが、こちらも急遽、中止に。成人式については、振袖を着ることを予定されていた方から、着付けや美容院の予約の関係から、秋ごろから、開催の有無、ならびに開催内容が例年通りなのかなど、多くのお問い合わせが市に入っていたようです。そのような中、東大和市では 2 回に分けて式典を行うことを早期に決定していましたが、年末からの感染拡大状況を受けて中止を決定。市には多くの苦情の声が寄せられたようですが、同時に、中止にしてくれて安心したという声もあったとのことでした。

■成人式は“延期”ではなく、“中止”に

…成人式については、平時では「本当に必要な式典だろうか？」といった意見も耳にすることがありましたが、いざ、開催できなくなると「一生に一度の晴れの日」、「大人になったことを自覚できる機会」など、成人式が開催されないことは残念だという声が、対象の新成人の方やそのご家族以外からも出ていました。

…緊急事態宣言が発令されている東京都内の自治体で成人式を開催したのは、23 区では杉並区のみ。多摩 26 市では昭島市、福生市、稲城市、武蔵村山市、国立市の 5 市のみでした。

…そのような中、東大和市では式典を中止。市長などからの新成人に向けてのビデオメッセージをインターネット上に掲載するほか、新成人には、式典に参加した方にお渡しする予定だった記念品と市長からのお祝いの言葉の手紙などを郵送することに変更したとのことでした。

…この成人式については、各自治体の対応について、テレビなどでも様々取り上げられていました。このコロナ禍において、成人式を中止するのではなく、事態が収束したら開催するとした「成人式の延期」としている自治体もあるようですが、東大和市としては中止、すなわち引き延ばしをしない決定を下しています。延期の方が良いという考えもあるとは思いますが、市では、今後の見通しが立たない中、また、新成人の方の中には、振袖など式典に対して準備をするという再度の負担等もあり得ることも考慮して結論を出したとのことでした。

■卒業式は

…市の行事などには、関わっている人それぞれの思いもあるので、行事ごとに優劣を付けることは難しいことですが、とはいえ、子ども達と保護者にとって、非常に大切な卒業式は、やはり重要な式典です。

…今年度は、学校でも多くの行事が中止、もしくは簡略化されているほか、授業内容も通常通りにはできていなかったこともあり「せめて卒業式は…」と思うところです。しかし、現在よりも感染が進んでいなかった昨年の卒業式は卒業生と教員のみ参加としていたことを考えると、今年の卒業式も通常に近い形での開催は難しいかもしれません。

…しかし、昨年より新型コロナウイルス感染症の予防策が明らかになってきていることも事実。何か対策も考えられそうですが、一方で、感染力の強い変異種が発生しているリスクも考えなければなりません。日々、状況が変化している中で結論を出すことは困難ですが、子ども達や保護者の気持ちを考えるとともに、他の自治体の対応や国からの通達なども参考に丁寧な結論を出すように、最善を尽くしてほしいと思います。
(裏面に続く)

■コロナから1年・・・東大和市の状況は

…最近の報道でも伝えられていますが、日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたのは、昨年1月16日。日本でのコロナ禍が始まってから1年が経過しました。毎日の報道では各都道府県や国全体の新規感染者数などが伝えられているところですが、足元の東大和市の状況等について1年を振り返り、現状を確認してみたいと思います。

…日本においては、4月をピークとした「第一波」、7月から8月に感染者が増えた「第二波」、そして、11月から今も続いている「第三波」と感染の波が起っていますが、東大和市では4月1日に初めて感染者が出てから各月の新規感染者数は以下のように推移。昨年末に100人となりました。

【昨年の東大和市の各月の新規感染者数】

■4月：6人 ■5月：2人 ■6月：0人 ■7月：7人
 ■8月：13人 ■9月：4人 ■10月：5人 ■11月：17人
 ■12月：46人 【令和2年の合計数：100人】

…そして、今月に入ってから東大和市においても新規感染者数が急増。下の表のとおり累計者数のうち「退院などされた方」の人数も市は公表していますが、これは「すでに退院（療養期間経過を含む）及び死亡された方の累計数」とのことです。よって、累計者数とこの退院などされた方の人数の差が、現在、感染中で治療や隔離をされている方と考えられますが、直近の公表の1月15日を見ると、その数は109人と増加していることがわかります。

…また、東大和市においては、昨年は市職員に感染者は出ていませんでしたが、今月2名の職員が感染。関係部署では職場に消毒を施すなどの対応をし、業務に大きな支障は出ていませんが、一気に新型コロナウイルス感染症の危険が身近に迫ってきた感があります。

【今月の東大和市の新型コロナ感染者の状況】

日	新規感染者数		これまでの感染者数累計	
		うち接触歴あり		うち退院などされた方
15	6	5	206	97
14	11	5	200	96
13	-	-	189	95
12	9	6	189	92
11	9	3	180	91
10	15	6	171	89
9	5	1	156	87
8	11	6	151	83
7	7	2	140	82
6	6	1	133	81
5	5	1	127	78
4	1	-	122	76
3	5	3	121	76
2	8	6	116	76
1	8	3	108	75

■年代別感染者数、自宅療養者数は

…最近では入院や宿泊療養ができない方が全国的に増加していることが報道で取り上げられていますが、東大和市でも「自宅療養」や「調整中」の方の人数は増加傾向にあります。

【1月14日の東大和市の109人の感染者の療養状況】

- ◆入院中：20人
- ◆宿泊療養中：2人
- ◆自宅療養中：69人
- ◆調整中：18人

…また、昨年の9月1日から東京都から東大和市への感染者情報提供の項目に年代、性別が含まれたことにより、東大和市での傾向も把握できるようになりました。これらも、全国的な傾向と同様ですが、10代や10代未満の感染者もゼロではなこともわかります。

【9月1日以降の累計患者数(年代、性別ごと)】

	男性	女性	合計
10歳未満	4	3	7
10代	3	4	7
20代	34	26	60
30代	11	9	20
40代	14	8	22
50代	10	16	26
60代	7	2	9
70代	8	7	15
80代	3	4	7
90代	2	2	4
合計	96	81	177

■コロナ禍後も見据えて

…現在発令されている2回目の緊急事態宣言では、7割のテレワークの実現により人流などを抑制したいとしています。昨年春に発令された最初の緊急事態宣言時には、東大和市も職員の半分を在宅勤務とするなどの対応を取っていましたが、年度末の繁忙期ということもあり、今回は土曜日までを出勤日とし、週6日の中で分散して休日を取るという対応のみにとどまっています。

…国は2月末からのワクチン接種に向けて準備を進めているようですが、WHOは今年中に世界中の多くの人が免疫を持つことは難しいことを公表しています。よって、コロナ禍の収束はまだ見えませんが、一方で、これまで棚上げしてきたこと、盲目的に信じて実行していた旧態依然のものなども浮き彫りになっています。市行政がコロナ禍をこれらへの対応を一気に進めるきっかけと捉えれば、コロナ禍後の業務の効率化や効果向上を実現できると思います。前述の行事など守るべきものと、変えるべきものをきちんと取捨選択し、対応することで、マイナス面ばかりのコロナ禍からプラス面を引き出すことも可能です。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
 ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
 〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102